第6講　実用文対策　その2

第A問

次の【資料Ⅰ】（文章、図、グラフ1～グラフ3）と【資料Ⅱ】は、気候変動が健康に与える影響について調べていたひかるさんが見つけた資料の一部である。これらを読んで、後の問い（問1～3）に答えよ。（配点　20）

メモ欄

【資料Ⅰ】

文章　健康分野における、気候変動の影響について

ⓐ気候変動による気温上昇は熱[注1]ストレスを増加させ、熱中症リ[注2]スクや暑熱による死亡リスク、その他、呼吸器系疾患等の様々な疾患リスクを増加させる。特に、ⓑ暑熱に対して脆(ぜい)弱性が高い高齢者を中心に、暑熱による超過[注3]死亡が増加傾向にあることが報告されている。年によってばらつきはあるものの、熱中症による救急搬送人員・医療機関受診者数・熱中症死亡者数は増加傾向にある。

ⓒ気温の上昇は感[注4]染症を媒介する節足動物の分布域・個体群密度・活動時期を変化させる。感染者の移動も相まって、国内での感染連鎖が発生することが危惧される。これまで侵入・定着がされていない北海道南部でもヒトスジシマカの生息が拡大する可能性や、日本脳炎ウイルスを媒介する外来性の蚊の鹿児島県以北への分布域拡大の可能性などが新たに指摘されている。

外気温の変化は、水[注5]系・食品媒介性感染症やインフルエンザのような感染症類の流行パターンを変化させる。感染性胃腸炎やロタウイルス感染症、下痢症などの水系・食品媒介性感染症、インフルエンザや手足口病などの感染症類の発症リスク・流行パターンの変化が新たに報告されている。

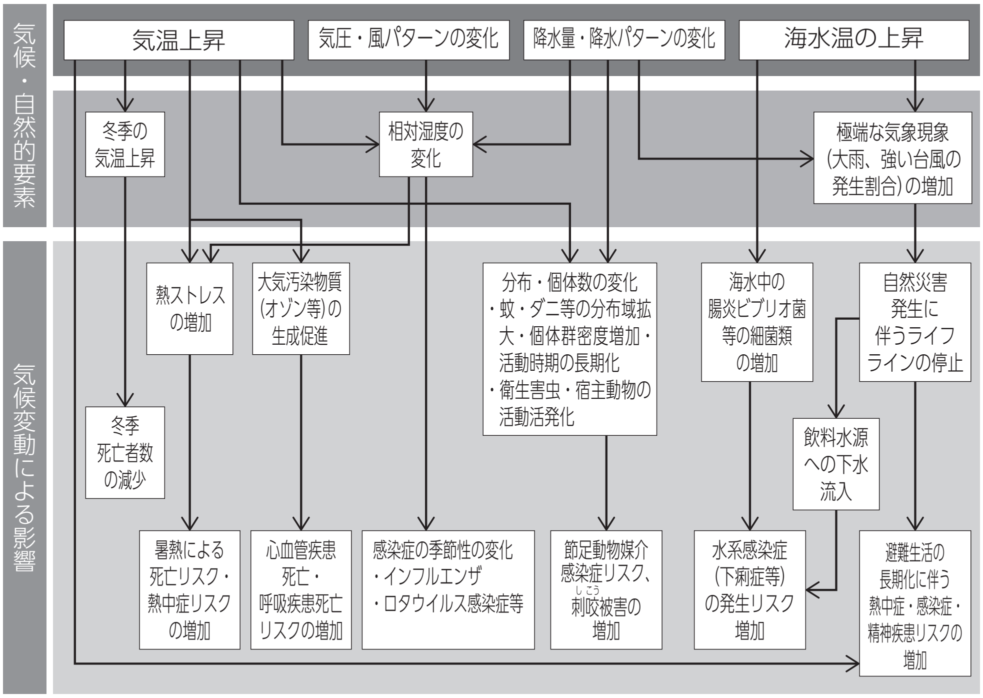
猛暑や強い台風、大雨等の極端な気象現象の増加に伴いⓓ自然災害が発生すれば、被災者の暑熱リスクや感染症リスク、精神疾患リスク等が増加する可能性がある。

2030年代までの短期的には、ⓔ温暖化に伴い光化学オキシダント・オゾン等の汚染物質の増加に伴う超過死亡者数が増加するが、それ以降は減少することが予測されている。

健康分野における、気候変動による健康面への影響の概略は、次の 図 に示すとおりである。

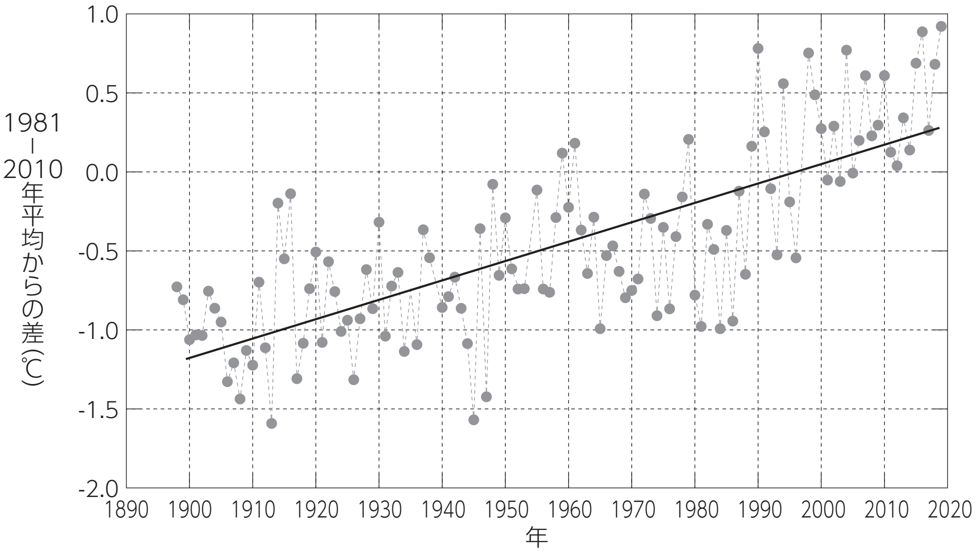
（注）1　熱ストレス……高温による健康影響の原因の総称。
　　　2　リスク……危険が生じる可能性や度合い。
　　　3　超過死亡……過去のデータから統計的に推定される死者数をどれだけ上回ったかを示す指標。
　　　4　感染症を媒介する節足動物……昆虫やダニ類など。
　　　5　水系・食品媒介性感染症……水、食品を介して発症する感染症。

図



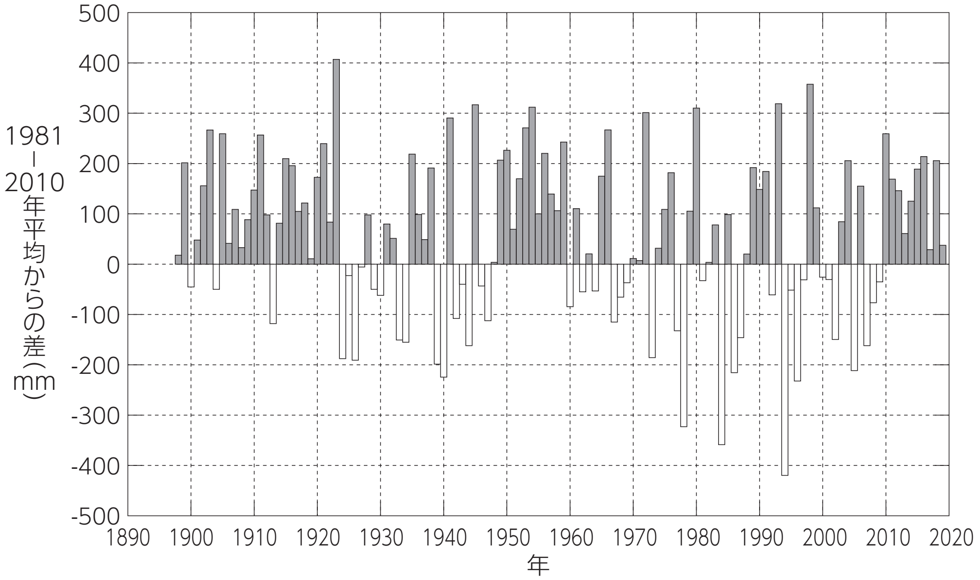
（ 文章 と 図 は、環境省「気候変動影響評価報告書 詳細（令和２年 12 月）」をもとに作成）

グラフ１　日本の年平均気温偏差の経年変化



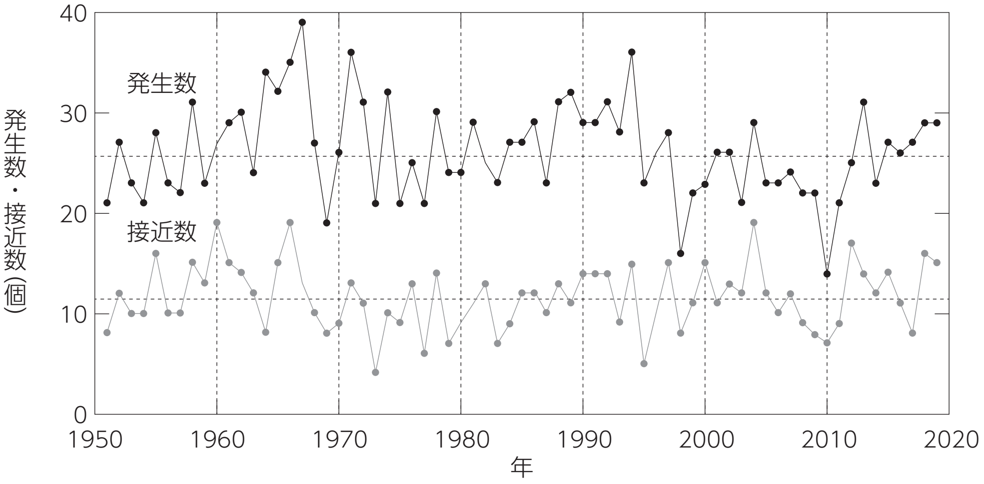
点線で結ばれた点は、国内15観測地点での年平均気温の基準値からの偏差を平均した値を示している。直線は長期変化傾向（この期間の平均的な変化傾向）を示している。基準値は1981～2010年の30年平均値。

グラフ２　日本の年降水量偏差の経年変化



棒グラフは気象庁の観測地点のうち、国内51地点での各年の年降水量の基準値からの偏差を平均した値を示している。0を基準値とし、上側の棒グラフは基準値と比べて多いことを、下側の棒グラフは基準値と比べて少ないことを示している。基準値は1981～2010年の30年間の平均値。

グラフ３　台風の発生数及び日本への接近数



点線は平年値（1950年～2020年の平均）を表す。

（グラフ１～グラフ３は、気象庁「気候変動監視レポート 2019（令和２年７月）」をもとに作成）

【資料Ⅱ】

　地球温暖化の対策は、これまで原因となる温室効果ガスの排出を削減する「緩和策」を中心に進められてきた。しかし、世界が早急に緩和策に取り組んだとしても、地球温暖化の進行を完全に制御することはできないと考えられている。温暖化の影響と考えられる事象が世界各地で起こる中、その影響を抑えるためには、私たちの生活・行動様式の変容や防災への投資といった被害を回避、軽減するための「適応策」が求められる。例えば、環境省は熱中症予防情報サイトを設けて、私たちが日々の生活や街中で熱中症を予防するための様々な工夫や取り組みを紹介したり、保健活動にかかわる人向けの保健指導マニュアル「熱中症環境保健マニュアル」を公開したりしている。これも暑熱に対する適応策である。また、健康影響が生じた場合、現状の保健医療体制で住民の医療ニーズに応え、健康水準を保持できるのか、そのために不足しているリソース[注1]があるとすれば何で、必要な施策は何かを特定することが望まれる。例えば、21世紀半ばに熱中症搬送者数が２倍以上となった場合、現行の救急搬送システム（救急隊員数、救急車の数等）ですべての熱中症患者を同じ水準で搬送可能なのか、受け入れる医療機関、病床、医療従事者は足りるのか、といった評価を行い、対策を立案していくことが今後求められる。また緩和策と健康増進を同時に進めるコベネフィット[注2]を追求していくことも推奨される。例えば、自動車の代わりに自転車を使うことは、自動車から排出される温室効果ガスと大気汚染物質を減らし（緩和策）、自転車を漕（こ）ぐことで心肺機能が高まり健康増進につながる。肉食を減らし、野菜食を中心にすることは、家畜の飼育過程で糞（ふん）尿などから大量に排出されるメタンガスなどの温室効果ガスを抑制すると同時に、健康増進につながる。こうしたコベネフィットを社会全体で追求していくことは、各セクター[注3]で縦割りになりがちな適応策に横のつながりをもたらすことが期待される。

（橋爪真弘（はしづめまさひろ）「公衆衛生分野における気候変動の影響と適応策」による）

（注）１　リソース……資源。
　　　２　コベネフィット……一つの活動が複数の利益につながること。
　　　３　セクター……部門、部署。

問１　**【資料Ⅰ】**　**文章**と**図**との関係について、次の(i)(ii)の問いに答えよ。

(i)　**文章**の下線部ⓐ～ⓔの内容には、**図**では**省略されているものが二つ**ある。その二つの組合せとして最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は［１］。

①　ⓑとⓔ
②　ⓐとⓓ
③　ⓒとⓔ
④　ⓑとⓓ

(ii)　**図**の内容や表現の説明として**適当でないもの**を、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は［２］。

①　「気候変動による影響」として環境及び健康面への影響を整理して図示し、**文章**の内容を読み手が理解しやすいように工夫している。
②　気温上昇によって降水量・降水パターンの変化や海水温の上昇が起こるという因果関係を図示することによって、**文章**の内容を補足している。
③　「気候・自然的要素」が及ぼす「気候変動による影響」を図示することにより、特定の現象が複数の影響を生み出し得ることを示唆している。
④　気候変動によって健康分野が受ける複雑な影響を読み手にわかりやすく伝えるために、いくつかの事象に限定して因果関係を図示している。

メモ欄

問２　次のア〜エの各文は、ひかるさんが**【資料Ⅰ】**、**【資料Ⅱ】**を根拠としてまとめたものである。**【凡例】**に基づいて各文の内容の正誤を判断したとき、その組合せとして最も適当なものを、後の①〜④のうちから一つ選べ。解答番号は［３］。

【凡例】

正　し　い――述べられている内容は、正しい。
誤っている――述べられている内容は、誤っている。
判断できない――述べられている内容の正誤について、**【資料Ⅰ】**、**【資料Ⅱ】**からは判断できない。

ア　気候変動による気温の上昇は、冬における死亡者数の減少につながる一方で、高齢者を中心に熱中症や呼吸器疾患など様々な健康リスクをもたらす。

イ　日本の年降水量の平均は一九〇一年から一九三〇年の三〇年間より一九八一年から二〇一〇年の三〇年間の方が多く、気候変動の一端がうかがえる。

ウ　台風の発生数が平年値よりも多い年は日本で真夏日・猛暑日となる日が多く、気温や海水温の上昇と台風の発生数は関連している可能性がある。

エ　地球温暖化に対して、温室効果ガスの排出削減を目指す緩和策だけでなく、被害を回避、軽減するための適応策や健康増進のための対策も必要である。

メモ欄

① ア　正しい　イ　誤っている　ウ　誤っている　エ　判断できない
② ア　誤っている　イ　判断できない　ウ　誤っている　エ　誤っている
③ ア　正しい　イ　誤っている　ウ　判断できない　エ　正しい
④ ア　誤っている　イ　正しい　ウ　判断できない　エ　正しい

メモ欄

問３　気候変動が健康に影響を与えることを知り、高校生として何ができるか考えたひかるさんは、**【資料Ⅰ】**と**【資料Ⅱ】**を踏まえたレポートを書くことにした。次の**【目次】**は、ひかるさんがレポートの内容と構成を考えるために作成したものである。これを読んで、後の(i)(ii)の問いに答えよ。

【目次】

テーマ：気候変動が健康に与える影響と対策

はじめに：テーマ設定の理由

第１章　気候変動が私たちの健康に与える影響

a　暑熱による死亡リスクや様々な疾患リスクの増加
b　感染症の発生リスクの増加
c　自然災害の発生による被災者の健康リスクの増加

第２章　データによる気候変動の実態

a　日本の年平均気温の経年変化
b　日本の年降水量の経年変化
c　台風の発生数及び日本への接近数

第３章　気候変動に対して健康のために取り組むべきこと

a　生活や行動様式を変えること
b　防災に対して投資すること
c　［　X　］
d　コベネフィットを追求すること

おわりに：調査をふりかえって

参考文献

メモ欄

（i）【資料Ⅱ】を踏まえて、レポートの第３章の構成を考えたとき、【目次】の空欄 X に入る内容として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 4 。

① 熱中症予防情報サイトを設けて周知に努めること
② 保健活動にかかわる人向けのマニュアルを公開すること
③ 住民の医療ニーズに応えるために必要な施策を特定すること
④ 現行の救急搬送システムの改善点を明らかにすること

メモ欄

(ii)　ひかるさんは、級友に**【目次】**と**【資料Ⅰ】【資料Ⅱ】**を示してレポートの内容や構成を説明し、助言をもらった。**助言の内容に誤りがあるもの**を、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は［5］。

①　Aさん　テーマに掲げている「対策」という表現は、「健康を守るための対策」なのか、「気候変動を防ぐための対策」なのかわかりにくいから、そこが明確になるように表現すべきだと思うよ。

②　Bさん　第1章のbの表現は、aやcの表現とそろえたほうがいいんじゃないかな。「大気汚染物質による感染症の発生リスクの増加」とすれば、発生の原因まで明確に示すことができると思うよ。

③　Cさん　気候変動と健康というテーマで論じるなら、気候変動に関するデータだけでなく、感染症や熱中症の発生状況の推移がわかるデータも提示できると、より根拠が明確になるんじゃないかな。

④　Dさん　第1章で、気候変動が健康に与えるリスクについて述べるんだよね。でも、その前提として気候変動が起きているデータを示すべきだから、第1章と第2章は入れ替えた方が、流れがよくなると思うよ。

「大学入学共通テスト」２０２５年度試作問題より

メモ欄

第B問

ヒロミさんは、日本語の独特な言葉遣いについて調べ、「言葉遣いへの自覚」という題で自分の考えを**【レポート】**にまとめた。**【資料Ⅰ】**〜**【資料Ⅲ】**は、**【レポート】**に引用するためにアンケート結果や参考文献の一部を、見出しを付けて整理したものである。これらを読んで、後の問い（**問１〜４**）に答えよ。（配点　20）

【レポート】

男女間の言葉遣いの違いは、どこにあるのだろうか。**【資料Ⅰ】**によると、男女の言葉遣いは同じでないと思っている人の割合は、七割以上いる。実際、「このバスに乗ればいいのよね？」は女の子の話し方として、「このカレーライスうまいね！」は男の子の話し方として認識されている。これは、性差によって言葉遣いがはっきり分かれているという、日本語の特徴の反映ではないだろうか。

一方、［　X　］にも着目すると、男女の言葉遣いの違いを認識しているものの、女性らしいとされていた言葉遣いがあまり用いられず、逆に男性らしいとされる言葉遣いをしている女性も少なからず存在することが分かる。

ここで、**【資料Ⅱ】【資料Ⅲ】**の「役割語」を参照したい。これらの資料によれば、言葉遣いの違いは性別によるとはかぎらない、そして、［　Y　］ということである。

たしかに、マンガやアニメ、小説などのフィクションにおいて、このような役割語は、非常に発達している。役割語がなければ、「キャラクタ」を描けないようにすら感じる。とくに、文字は映像と違って、顔は見えないし声も聞こえない。役割語が効率的

メモ欄

にキャラクタを描き分けることによって、それぞれのイメージを読者に伝えることができる。その一方で、キャラクタのイメージがワンパターンに陥ってしまうこともある。
それでは、現実の世界ではどうだろうか。私たちの身近にある例を次にいくつか挙げてみよう。

Z

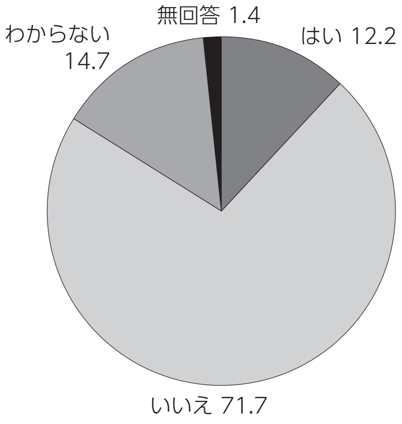
以上のように、私たちの周りには多くの役割語があふれている。したがって、役割語の性質を理解したうえで、フィクションとして楽しんだり、時と場所によって用いるかどうかを判断したりするなど、自らの言葉遣いについても自覚的でありたい。

メモ欄

【資料Ⅰ】　性別による言葉遣いの違い

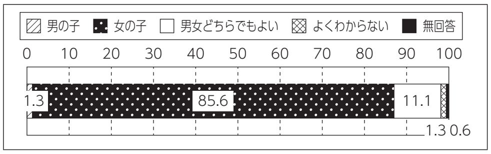
調査期間　2008/11/23～2008/12/08
調査対象　小学生～高校生10,930人（男子5,787人、女子5,107人、無回答36人）
調査方法　任意で回答
単位　　　全て％

質問１
男の子（人）が使うことばと、女の子（人）が使うことばは、同じだと思いますか？

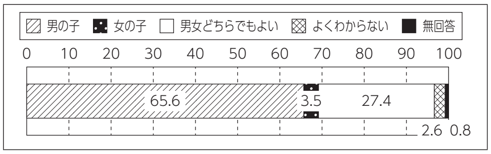


質問２
①次の各文は、男の子、女の子、どちらの話し方だと思いますか？

「このバスに乗ればいいのよね？」



「このカレーライスうまいね！」



②次のようなことばづかいはしますか？

「このバスに乗ればいいのよね？」

「このカレーライスうまいね！」

（旺文社「第６回ことばに関するアンケート」による）

【資料Ⅱ】　役割語の定義

役割語について、金水敏『ヴァーチャル日本語　役割語の謎』（岩波書店、二〇〇三年、二〇五頁）では次のように定義している。

ある特定の言葉遣い（語彙・語法・言い回し・イントネーション等）を聞くと特定の人物像（年齢、性別、職業、階層、時代、容姿・風貌、性格等）を思い浮かべることができるとき、あるいはある特定の人物像を提示されると、その人物がいかにも使用しそうな言葉遣いを思い浮かべることができるとき、その言葉遣いを「役割語」と呼ぶ。

すなわち、特定の話し方あるいは言葉遣いと特定の人物像（キャラクタ）との心理的な連合であり、(注)ステレオタイプの言語版であるとも言える。役割語の分かりやすい例として、次のようなものを挙げることができる。

ａ　おお、そうじゃ、わしが知っておるんじゃ。
ｂ　あら、そうよ、わたくしが知っておりますわ。
ｃ　うん、そうだよ、ぼくが知ってるよ。
ｄ　んだ、んだ、おら知ってるだ。
ｅ　そやそや、わしが知ってまっせー。
ｆ　うむ、さよう、せっしゃが存じております る。

上記の話し方はいずれも論理的な内容が同じであるが、想起させる話し手が異なる。例えばａは男性老人、ｂはお嬢様、ｃは男の子、ｄは田舎もの、ｅは関西人、ｆは武士などの話し手が当てられるであろう。

（金水敏（きんすいさとし）「役割語と日本語教育」『日本語教育』第一五〇号による）

（注）　ステレオタイプ――型にはまった画一的なイメージ。紋切り型。

【資料Ⅲ】　役割語の習得時期

多くの日本語話者は、「あら、すてきだわ」「おい、おれは行くぜ」のような言い方が女性や男性の話し方を想起させるという知識を共有している。しかし、現実の日常生活の中でこのようないかにも女性的、いかにも男性的というような表現は今日の日本ではやはりまれになっている。

日常的な音声言語に、語彙・語法的な特徴と性差に関する積極的な証拠が乏しいにもかかわらず、多くのネイティブの日本語話者は、〈男ことば〉と〈女ことば〉を正しく認識する。むろんこれは、絵本やテレビなどの作品の受容を通して知識を受け入れているのである。この点について考えるために、私が代表者を務める(注)科研費の研究グループで、幼児の役割語認識の発達に関する予備的な実験調査を紹介しよう。図1として示すのは、その実験に用いたイラストである。

この図を被実験者の幼児に示し、さらに音声刺激として次のような文の読み上げを聞かせ、絵の人物を指し示させた。

a　おれは、この町が大好きだぜ。
b　あたしは、この町が大好きなのよ。
c　わしは、この町が大好きなんじゃ。
d　ぼくは、この町が大好きさ。
e　わたくしは、この町が大好きですわ。

その結果、三歳児では性差を含む役割語の認識が十分でなかったのに対し、五歳児ではほぼ完璧にできることが分かった（音声的な刺激を用いたので、語彙・語法的な指標と音声的な指標のどちらが効いていたかはこれからの検討課題である）。

幼児が、これらの人物像すべてに現実に出会うということはほとんど考えにくい。これに対して、幼児が日常的に触れる絵本やアニメ作品等には、役割語の例があふれている。

（金水敏「役割語と日本語教育」『日本語教育』第一五〇号による）

（注）科研費——科学研究費補助金の略。学術研究を発展させることを目的にする競争的資金。

図1　役割語習得に関する実験刺激

問１　**【レポート】**の空欄 X には、**【レポート】**の展開を踏まえた**【資料Ⅰ】**の説明が入る。その説明として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 1 。

① 「このバスに乗ればいいのよね？」を使わない女子は六割近くにのぼり、「このカレーライスうまいね！」を使わない男子は二割を超えていること

② 「このバスに乗ればいいのよね？」を使う女子は三割程度にとどまり、「このカレーライスうまいね！」を使う女子は三割を超えていること

③ 「このバスに乗ればいいのよね？」を使わない女子は六割近くにのぼり、「このカレーライスうまいね！」を使わない男女は四割近くにのぼること

④ 「このバスに乗ればいいのよね？」を使わない女子は六割近くにのぼり、「このカレーライスうまいね！」を使うか分からないという女子は一割程度にとどまっていること

メモ欄

問２　**【レポート】**の空欄［Ｙ］には、**【資料Ⅱ】**及び**【資料Ⅲ】**の要約が入る。その要約として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は［２］。

① イラストと音声刺激を用いた発達段階に関する調査によって、役割語の認識は、五歳でほぼ獲得されることが明らかになったが、それは絵本やアニメといった幼児向けのフィクションの影響である

② 役割語とは、特定の人物像を想起させたり特定の人物がいかにも使用しそうだと感じさせたりする語彙や言い回しなどの言葉遣いのことであり、日本語の言葉遣いの特徴を端的に示した概念である

③ 年齢や職業、性格といった話し手の人物像に関する情報と結びつけられた言葉遣いを役割語と呼び、私たちはそうした言葉遣いを幼児期から絵本やアニメ等の登場人物の話し方を通して学んでいる

④ 日本語話者であれば言葉遣いだけで特定の人物のイメージを思い浮かべることができるが、こうした特定のイメージが社会で広く共有されるに至ったステレオタイプとしての言語が役割語である

メモ欄

問３　**【レポート】**の空欄 Z には、役割語の例が入る。その例として**適当でないもの**を、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 3 。

① 家族や友だちに対してはくだけた言葉遣いで話すことが多い人が、他人の目を意識して、親密な人にも敬語を用いて話し方を変える場合が見受けられる。

② アニメやマンガ、映画の登場人物を真似るなどして、一般的に男性が用いる「僕」や「俺」などの一人称代名詞を用いる女性が見受けられる。

③ ふだん共通語を話す人が話す不自然な方言よりも、周りが方言を話す環境で育てられた人が話す自然な方言の方が好まれるという傾向が見受けられる。

④ 「ツッコミキャラ」、「天然キャラ」などの類型的な人物像が浸透し、場面に応じてそれらを使い分けるというコミュニケーションが見受けられる。

メモ欄

問４　ヒロミさんは、**【レポート】**の主張をより理解してもらうためには論拠が不十分であることに気づき、補足しようと考えた。その内容として適当なものを、次の①～⑥のうちから**二つ**選べ。ただし、解答の順序は問わない。解答番号は［４］・［５］。

①　「今日は学校に行くの」という表現を例にして、日本語における役割語では語彙や語法より音声的な要素が重要であるため、文末のイントネーションによって男女どちらの言葉遣いにもなることを補足する。

②　英語の「Ｉ」に対応する日本語が「わたし」、「わたくし」、「おれ」、「ぼく」など多様に存在することを例示し、一人称代名詞の使い分けだけでも具体的な人物像を想起させることができることを補足する。

③　マンガやアニメなどに登場する武士や忍者が用いるとされる「～でござる」という文末表現が江戸時代にはすでに使われていたことを指摘し、役割語の多くが江戸時代の言葉を反映していることを補足する。

④　役割語と性別、年齢、仕事の種類、見た目などのイメージとがつながりやすいことを踏まえ、不用意に役割語を用いることは人間関係において個性を固定化してしまう可能性があるということを補足する。

⑤　絵本やアニメなどの幼児向けの作品を通していつの間にか認識されるという役割語の習得過程とその影響力の大きさを示し、この時期の幼児教育には子どもの語彙を豊かにする可能性があるということを補足する。

メモ欄

⑥ 役割語であると認識されてはいても実際の場面ではあまり用いられないという役割語使用の実情をもとに、一人称代名詞や文末表現などの役割語の数が将来減少してしまう可能性があるということを補足する。

「大学入学共通テスト」２０２５年度試作問題より

メモ欄

■2025年度 試作問題

問題番号（配点）	設　問	解答番号	正　解	配　点
第A問（20）	1	1	1	3
		2	2	3
	2	3	3	5
	3	4	3	4
		5	2	5
第B問（20）	1	1	2	4
	2	2	3	3
	3	3	3	3
	4	4－5	2－4	10（各5）

（注）－（ハイフン）でつながれた正解は、順序を問わない。

巻末付録

読解法一覧

読解法1　文の構造

文を読むときは「主部と述部」「修飾部と被修飾部」「接続部と文」という文の構造に気をつけよう。

《分析記号》
主部　＝〈とんがりカッコ〉を付ける
修飾部　＝［四角カッコ］を付ける
接続部　＝／スラッシュで文を切る

読解法2　指示語・接続表現

文を読むときは「指示語」と「接続表現」に気をつけよう。「指示語」があれば「指示内容」を捉え、「接続表現」があれば「前後のつながり」に注意する。また、本講座では「論理的なつながり」を強調するため、「接続詞」「接続語」ではなく「接続表現」という表記で統一する。

《分析記号》
指示語　＝（　）で囲む
接続表現　＝（　）で囲む

「指示語」のカテゴリー

①「指示語」

前の名詞や説明を指す。

「これ」「それ」「あれ」　指示語（指示代名詞）
「この」「その」「あの」　指示語（指示連体詞）

②「一般化の指示語（まとめの指示語）」

前の具体例や詳しい説明をまとめる働きがある。指示内容は前に書かれている説明を幅広く捉える必要がある。

「このような」「そのような」「こういう」「そういう」

「接続表現」のカテゴリー

①「解説」

前の語や文や段落を詳しく説明したり、要約的にまとめたりする。

「つまり」「つまるところ」「すなわち」 「要するに」「畢竟（ひっきょう）」「結局」 →要約的な言い換え 「言い換えれば」「換言すると」 →言い換え 「いわば」 →改まった表現（比喩表現・個人言語）への言い換え

②**「例示」**

前の内容の具体例を引いたり、一部を強調したりする。

「例えば」「言ってみれば」
↓読者の理解のための具体例を引く
「とりわけ」「なかんずく」
↓全体の中から一部を取り出して強調する

③**「理由」**

前の文に対する理由を説明する。

「なぜなら」「というのは（も）」
↓評論文に多い
「けだし」「だって」
↓小説文・随筆文に多い

④**「帰結」**
前の文からの結果・結論を示す。（順接が多い）

「だから」「したがって」「それゆえ」
「ゆえに」「よって」「それで」
「そこで」「すると」「そして」
（因果関係がない場合もある）

⑤**「転換」**
前の主張や主題を転換する。

「しかし」「だが」「ところが」「とはいえ」「さりとて」
「それでも」「それなのに」「それにしても」「けれども」
「けれど」
↓「主張」の方向転換（逆接）

「さて」「ところで」「閑話休題」
↓「主題・話題」の転換

⑥「付加」

前の内容に別の内容を付け加える。

「さらに」「しかも」「そのうえ」「加えて」
「また」「および」「かつ」
「だけでなく」「のみならず」
↓単純な付け加え

「一方」「他方」「もう一方で」「他方で」
↓対照的な内容を付け加える

⑦「補足」

反対の内容を補足する。

「ただし」「もっとも」

⑧「選択」

前の内容と後の内容のいずれか一方を選択する。（両方の場合もある）

「または」「あるいは」「もしくは」「ないし（は）」「それとも」

読解法3 文の関係

文を読むときは「同値（イコール）」「対立」「因果」「包摂（抽象・具体）」という関係に注意する。「文の構造」「指示語」「接続表現」といった形式、および「言葉の意味」といった内容の両面から「文の関係」を捉える。

《分析記号》

① 同値関係　A ＝ B
② 対立関係　A ↔ B
③ 因果関係　A → B
④ 包摂関係　A ― a’

読解法4　レトリック（説得話法・修辞法）

筆者は自分の主張を理解してもらうだけでなく、納得してもらえるように様々な方法を用いて工夫をしている。その工夫が「レトリック（説得話法）」である。文を読むときには「レトリック」に気をつけよう。

①「問題提起」

読者に疑問を投げかけて意識を誘導し、答えとして自説を述べる。「疑問文」があったら、そのあとに「答え」が来ることを予想しながら読もう。

《分析記号》　波線を引く

「疑問文」→「◎答え（自説・持論）」

②「具体例」「体験談」

読者がイメージしやすいような例を挙げる。また、実感を込めるために体験談を挙げる。これらは筆者の主張を伝えるための手段なので、（丸カッコ）で括りながら常に「筆者の主張」を意識して読もう。

《分析記号》（丸カッコ）で括る

「◎主張」→（△具体例、体験談）→「◎まとめ」

抽象　→　具体　→　抽象

③「引用」

筆者が別の文章の筆者と対話しながら文章を展開することがある。二人で議論を進めることにより、論を深めるためである。引用は筆者の主張に対して「同意見」「反対意見」「根拠」「具体例」となるものがある。引用も（丸カッコ）で括りながら読んでいこう。

《分析記号》（丸カッコ（引用））で括る
（△引用（引用））→「◎筆者の説明・解釈」

④「比喩」

内容のイメージを喚起しやすくするために別のものに喩（たと）える。

《分析記号》□で囲む
直喩　＝　「ような」「みたいな」をつけて喩える
隠喩　＝　「ような」「みたいな」をつけないで喩える
擬人法　＝　人でないものを人に喩える
類比　＝　同じグループ内の別のものに喩える

⑤「譲歩」

一般論や反論に一旦は理解を示しながらも、方向転換をして自説・持論を展開する。

> 《分析記号》 ▢ で囲む
> 「確かに」「もちろん」「なるほど」「むろん」→△一般論・反論
> 「しかし」「だが」「けれど」→◎自説・持論

読解法5　論理フレームワーク

筆者は自分の伝えたい内容を定義・整理・分類することで、内容を正確に相手に伝えようとする。あらゆる筆者に共通する整理の仕方が「フレームワーク」である。内容を正確につかむためにも「論理フレームワーク」に注意しよう。

> 《分析記号》 ▢ で囲む

①「否定」のフレームワーク

Aではなく、（ではない。）Bである
Aより（ではなく）むしろB
Aのようで実はB

※AとBが反対の内容になる場合が多い。
※Bに筆者の主張が来ることが多い。

②「条件法」のフレームワーク

AならばB（AはBである）
Aの条件（前提、本質、基本）はBである
Aは常に（必ず、絶対）B
すべてのAはBである（全称文）
AのためにはBでなければならない
（AのためにはBである必要がある）
BでないならばAでない
B以外にはAはない
Bのときのみ（だけ、に限り）A

Bしてはじめて（してこそ）A

※主張（命題）を表す。
※Aは十分条件、Bは必要条件を表す。
※「AならばB」の否定は「Aは必ずしもBとは限らない」である。
「AであってBでない」ような「反例」が挙げられる。

③「連言」のフレームワーク

AかつB
Aさらに、そのうえ、加えて、B
Aだけでなく、（だけではない。）Bも
Aのみならず、Bも
Aと（や）B
Aつつ、ながら、同時に、ともに、B

※Aという主張とBという主張が同時になされている。
※「AかつB」の否定は「Aでない、またはBでない」となる。（ド・モルガンの法則）

④「選言」のフレームワーク

AまたはB
AあるいはB
Aもしくは、B
Aないし（は）B
Aか（や）B

※Aという主張かBという主張のうちどちらか一方（または両方）がなされている。
※「AまたはB」の否定は「Aでない、かつBでない」となる。（ド・モルガンの法則）

⑤「差異（対比）」のフレームワーク

AはXであるのに対し、BはYである
AはXであるのとは異なり（違って、別に、逆に）、
BはYである

※AとBの相違点を説明する。
※XとYは反対の内容になる場合が多い。

⑥「変化」のフレームワーク

Ａから Ｂへと変化する
Ａだったものが Ａでなくなる

※ＡとＢは反対の内容になる場合が多い。

⑦「類似（類比）」のフレームワーク

ＡはＸである。Ｂも（また）Ｘである
ＡとＢはともにＸである
Ａと同様にＢも（また）Ｘである
ＡとＢはＸという点で同じである

※ＡとＢの共通点を説明する。

⑧「逆説」のフレームワーク

Ａすると、かえってＢ
Ａと同時にＢ

※ＡとＢは反対の内容になる。
※一見矛盾しているように見えるが真である。

⑨「因果」のフレームワーク

ＡだからＢ
ＡなのでＢ
ＡによってＢ
ＡのためＢ

※ＡとＢに因果関係がある。

読解法6　論証のフレームワーク

筆者は自説を主張するが、その主張は読者にとって飛躍があったり、常識に反する内容であったりする。そこで、筆者は読者に納得してもらうために「論証（証明）」を行う。その「論証」を読むために「論証のフレームワーク」に注意しよう。

①単純な論証

A（○根拠）→ B（◎結論）

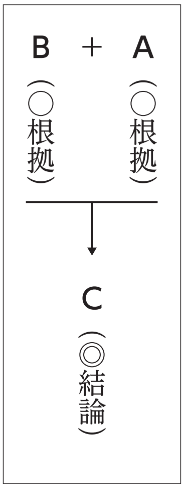
※根拠Aから結論Bが導かれている。

②論証の連鎖

A（△根拠）→ B（○根拠）→ C（◎結論）

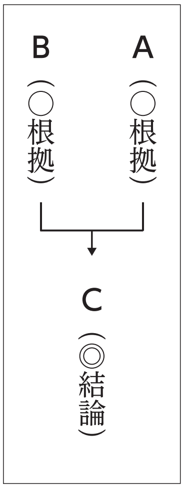
※主張Aが根拠となって主張Bが導かれ、その主張Bが根拠となって主張Cが導かれる。

③結合論証



※主張AとBが組み合わさって一つの根拠を形成し、主張Cが結論付けられる。
※AかBかどちらか一方がもしないならば、この論証は成立しなくなる。

④合流論証



※根拠Aだけでなく根拠Bもあり、結論Cが導かれる。
※AとBはそれぞれ単独でも根拠になる。

読解法7　心情のフレームワーク

小説文や随筆文では登場人物や作者の「心情」が問われる。「心情」を捉える際にはその心情が発生する「原因」まで捉える必要がある。そこで、「心情」を捉えるための「因果関係」を「心情のフレームワーク」として覚えよう。

①単純な心情

原因	↓	**心情**	↓	**結果**
（事態、事情）				（行動、反応、発言）

※「心情」部分が書いてない場合は「原因」と「結果」から推測する。

②心情の変化

心情A → **心情B**
（変化：↓／変化の原因：→）

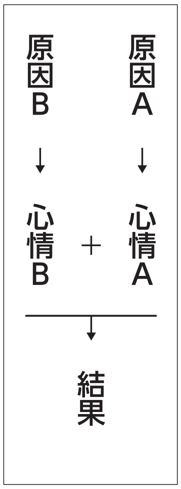
※心情Aから心情Bへの変化を捉える。
※心情は反対のものになる。
※「心情A」「心情B」「変化の原因」の三点を捉える。

③結合原因の心情

原因A（外的）
＋
原因B（内的）
→ **心情** → **結果**

※原因Aと原因Bが組み合わさって「心情」が発生する。
※原因Bは特殊事情であることが多く、「セリフ」「心中文」「過去のシーン」によって明らかになることが多い。

④心情の交錯



※心情Ａと心情Ｂが同時に存在する。
※心情Ａと心情Ｂのそれぞれに「原因」がある。
※心情Ａと心情Ｂは相反する心情である場合が多い。

傍線部内容説明問題解法　「どういうことか」の解答プロセス

①　「文構造」を分析する。

・文法的構造
・論理的構造

↓

②　「ポイント」を把握する。

・指示語
・比喩表現
・個人言語

↓

③　「解答の根拠」となる文と対応させる。

①「文構造」の分析について

★ 文法的構造

・主語（主部）―述語（述部）

・修飾語（修飾部）―被修飾語（被修飾部）や目的語（目的格）や補語（補格）など

・接続助詞や連用中止法

・倒置や省略

★ 論理的構造

・否定　・差異（変化）

・連言　・類似（アナロジー）

・選言　・逆説

・条件法　・因果

設問を解く際には、まずは傍線部（または傍線部を含む一文）の統語論的「構造」を分析することからスタートする。この構造を正確に分析して、なるべく元の構造を生かして、解答を構成するためである。ただし、日本語の慣習的統語規則を鑑みて、受動態から能動態に変換するなど元の構文を変形する場合もある。

②「ポイント」になる語句について

★指示語（代名詞）

㊢これ、この、このような、このように、それ、その、そのような、そのように　など

㊹前者、後者、両者、右の、彼　など

★比喩表現　＝　直喩、暗喩、メタファー、レトリック　など

★個人言語　＝　筆者が一般的な意味とは異なる特殊な意味で使っている言葉、学術（専門）用語

③「解答の根拠」となる部分との対応について

★同値関係

★対立関係

★因果関係

★包摂関係（抽象と具体の関係）

以上の関係がある部分と対応させる。

このような関係で対応した部分が、記述解答を書く際の「解答の根拠」となる。

傍線部理由説明問題解法「なぜか」の解答プロセス

① 「文構造」を分析する。
- 文法的構造
- 論理的構造

↓

② 「ポイント」を把握する。
- A → x
  （飛躍している部分）

↓

③ 「解答の根拠」となる文と対応させる。

Ⅰ 「A→x」の発見

論証が必要な命題（文）には「A→x」という飛躍した部分がある。まずは、どこに飛躍があるかを見つけよう。

① 主語（主部）→述語（述部）に飛躍がある場合。
② 修飾部（接続部）→被修飾部（被接続部）に飛躍がある場合。

※文構造（係り受け）を分析する中で、構造的につながっているが、意味的につながっていない部分を探す。
※「x」は、「なぜ『〜』か」というように設問が指定している場合もある。

Ⅱ 論証部の発見

飛躍を埋める部分が論証部となる。「A→x」のAの説明を求めよう。

Ⅲ　論証のフレームワーク

①「単純な論証」　A → B

根拠Aから結論Bが導かれている。

〈例文〉すべての動物は呼吸をする。　**根拠**　A

したがって、　**導出**

犬は呼吸をする。　**結論**　B

※実はこの導出に必要な前提として、「犬は動物である。」というものがある。
これは「隠れた前提」として筆者の論証が成り立つように補ってやる必要がある。
筆者の論証が成り立つように隠れた前提を補うというルールを「**寛大の原則**」という。

② 「論証の連鎖」　A → B → C

主張Aが根拠となって主張Bが導かれ、その主張Bが根拠となって主張Cが導かれる。

〈例文〉　このカフェはコーヒー豆の品質にこだわっている。　**根拠A**

[そのため、]　↓ **導出**

コーヒーの味が非常に良い。　**根拠B**

[だから、]　↓ **導出**

多くの客がリピートしている。　**主張C**

※この形が「論証」の中では一番多い。「論証」の最後に来る文が「主張提示文」になる。
その前の文は「根拠」となる。

③「結合論証」

B ＋ A
↓
C

主張AとBが組み合わさって一つの根拠を形成し、主張Cが結論付けられる。

〈例文〉

もしこの植物に毎日水をやらなければ、花は咲かない。　**主張A**

＋　**結合**

今、この植物の花が咲いている。　**主張B**

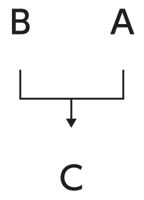
＝　**根拠**

したがって、　←　**導出**

この植物に毎日水をやったということだ。　**主張C**

※先に説明した「隠れた前提」がある場合、この結合論証となる。
この形も「理由説明問題」ではよく出題される。

④「合流論証」



根拠Aだけでなく根拠Bもあり、主張Cが導かれる。

〈例文〉この学習塾は個別指導が充実している。　**根拠A**

また、

使用する教材も最新のカリキュラムに対応している。　**根拠B**

だから、　→ **導出**

生徒の学力向上に大きく貢献している。　**主張C**

※この場合はどちらか片方だけでも「根拠」になる。
設問の場合には「理由を二つ説明せよ」となることが多い。

Ⅳ　論証を捉えるヒント

A　帰結の接続表現

「だから」「したがって」「よって」
「それゆえ」「ゆえに」
「それで」（「そこで」）

B　理由の接続表現

「なぜなら」「というのは（も）」
「けだし」「だって」

C　助詞など

「〜から」「〜ので」「〜ため」「〜より」
「〜のだ」「〜のである」

↓　〜が原因・理由を表す

D　直接表現、比喩表現など

「理由」「原因」「結果」「帰結」「結論」
「〜から生じる」「〜に根ざしている」
「根源」「背景」など

傍線部心情把握問題解法「心情」の解答プロセス

①「文構造」を分析する。

- 文法的構造
- 論理的構造

↓

②「ポイント」を把握する。

- 原因 ↓ 客観的事態や主観的事情
- 心情 ↓ ⊕心情や⊖心情
- 結果 ↓ 行動や反応や発言

↓

③「解答の根拠」となる文と対応させる。

Ⅰ　単純な心情

原因 → 心情 → 結果

※心情把握問題の基本形。
※この場合は心情が書いていないため、原因と結果から挟み撃ちして心情を把握する問題になっていることが多い。

Ⅱ　心情の変化

原因A → 心情A → 結果A → 原因B → 心情B → 結果B

※心情把握問題で一番有名な問題。
※心情Aから心情Bへの変化、そして変化の原因を三点セットで捉える必要がある。

Ⅲ　結合原因の心情

原因A ＋ 原因B → 心情 → 結果

※原因Aだけ捉えて答えようとすると間違いになる選択肢が多い。

※原因Bは**「リード文」「会話文」「心中文」「回想シーン」**などにある場合が多い。

Ⅳ　心情の交錯

原因Ａ → 心情Ａ
＋
原因Ｂ → 心情Ｂ
→ 結果

※一番分析が難しい問題。
※心情Ａの原因が原因Ｂになっていたりと、原因の部分を入れ替えての誤答選択肢が多い。

［著作物・参考資料一覧］
第１講　高岡文章「観光は『見る』ことである／ない ──『観光のまなざし』をめぐって」
第２講　河野哲也『境界の現象学』
第３講　蜂飼耳「繭の遊戯」
第４講　原民喜「翳」
第５講　NHK 放送文化研究所『放送研究と調査』2022 年 12 月号
　　　　国立国語研究所『外来語に関する意識調査（全国調査）』
　　　　国立国語研究所『分かりやすく伝える外来語言い換え手引き』
第６講　橋爪真弘「公衆衛生分野における気候変動の影響と適応策」
　　　　旺文社「第６回ことばに関するアンケート」2009 年
　　　　金水敏『ヴァーチャル日本語　役割語の謎』
　　　　金水敏「役割語と日本語教育」『日本語教育』第一五〇号